

井手元 研一 チェロ協奏曲の夕べ

上昇続ける IDEMOTO ~ 円熟とパワー

ロッシニ：歌劇「チエネレントラ（シンテレラ）」序曲

Rossini : La Cenerentola-Overture

シューマン：チェロ協奏曲イ短調 作品 129

Schumann : Concerto for Cello and Orchestra in A Minor, Op.129

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲ロ短調 作品 104

Dvořák : Concerto for Cello and Orchestra in B Minor, Op.104



チェロ：井手元 研一

指揮：松井 慶太

管弦楽：名古屋フィルハーモニー交響楽団



2020年 1月28日(火)

18:45 開演 (18:00 開場)

三井住友海上 しらかわホール

全席指定 (税込)

S席 4,000円 A席 3,000円

U25 2,000円 車椅子席 2,500円

※未就学児入場不可。

※A席・U25は2階バルコニーです。

ホールの構造上、視界が遮られます。予めご了承ください。

※U25はアイ・チケットのみ取扱い。公演当日25歳以下、来場時に年齢確認できるものをご持参ください。

主催：オフィス・ドウ お問合せ：クラシック名古屋 052-678-5310

プレイガイド アイ・チケット 0570-00-5310 clanago.com/i-ticket (クレジット・コンビニ決済可)
芸文プレイガイド 052-972-0430 しらかわホールチケットセンター 052-222-7117



チェロ 井手元 研一

1949年鹿児島県霧島市生まれ。14歳で悲願のチェロを手にするも、4ヶ月で中断を余儀なくされた。1969年19歳で大阪に出て、20歳で希望の再開。大阪外国語大学オーケストラとの二度の協演。1976年よりフリー演奏活動。

1978年名古屋フィルハーモニー交響楽団入団。1982年名古屋市市民会館新進演奏家紹介コンサートオーティションにて最優秀賞。1983～1984年ウィーン、パリ、テュッセルドルフへの留学。1995年、師 ユルゲン・ヴォルフ氏（パブロ・カザルスの弟子）と大阪、名古屋、鹿児島でのデュオ・コンサート。1999年、名古屋フィルハーモニー交響楽団とラロのチェロ協奏曲を協演。2007年パリ・シャトレ座で齊藤綾子氏とのデュオ・コンサート。2010年、東京、名古屋、京都、鹿児島でのチェロリサイタル。2013年、東京、名古屋、鹿児島での「ドヴォルザークチェロ協奏曲のタベ」、同年、ドヴォルザークチェロ協奏曲 五公演。2015年齊藤綾子氏とのヴァイオリンとチェロの「無伴奏のタベ」。2016年、2017年の名古屋、鹿児島での「パッパとシューマンのタベ」でシューマンチェロ協奏曲。2019年チェロリサイタル 名古屋。パリにてCD録音。エリック・ウンカウア（Eric N'Kaoua）氏と共演。

島雅昭、パーツァフ・アダミラ、アダルベルト・スコッチチ、ジャクリーヌ・ウクラン、ユルゲン・ヴォルフの名氏に師事。

無伴奏チェロによる「パッパ・平均律クラヴィア曲集第一番前奏曲」と、テューボール・エチュード

第7番の編曲「ジャンパンの泡の踊り」の編曲。

NHK-FM「午後のリサイタル」出演。鹿児島南日本放送「ゆうぐれエクスプレス」生出演。2017年1月KTSテレビ「かこニュー」生出演。

使用楽器はハンニバル・ファニョラ 1926年（ウィリアム・メーニツク出）。

名古屋フィルハーモニー交響楽団団友。



指揮 松井慶太

1984年青森県八戸市生まれ。3歳よりピアノ、15歳よりオーボエを学び、16歳のときピアニストとしてポランド国立クラフク交響楽団と共演。2007年、東京音楽大学指揮科卒業。指揮を広く上淳一、汐澤安彦、ピアノを故島田玲子、宮原節子、オーボエを安原理喜、音楽理論を久田典子に師事。2006年、韓国で行われたアジア・フィルハーモニック・オーケストラにて指揮をチョン・ミョンファンに師事。

2009年、第15回東京国際音楽コンクール入賞・奨励賞受賞。2011年から2018年3月まで東京混声合唱団コンダクター・イン・レジダンス。国内では東京シティ・フィル、日フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、大阪響、九響、京響、群響、セントラル愛知響、仙フィル、名フィル、山響、東京室内歌劇場等を指揮。2008～2014年には、N響定期演奏会にてテュトワ、ミョンファン、ルイーザらのもとで合唱指揮を務め、公演を成功に導く。海外ではドナウ交響楽団（ブダペスト）、ブラハ交響楽団室内オーケストラを指揮し好評を博した。



管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団

愛知県名古屋市を中心に活動し、東海地方を代表するオーケストラとして、地域の音楽界をリードし続けている。革新的なプログラムや、充実した演奏内容で広く話題を発信。「名フィル」の愛称で地元住民からも親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。楽団結成は1966年7月。1973年に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。2016年4月、小泉和裕が音楽監督に就任。他に現在の指揮者陣には、川瀬寛太郎（正指揮者）、小林研一郎（桂冠指揮者）、モーシェ・アツモン（名誉指揮者）、ティエリー・フィツィヤール（名誉客演指揮者）が名を連ねている。2017年4月、第2代コンポーザー・イン・レジダンスに酒井健治が就任。